

千葉市長旗争奪ミニサッカー大会競技規則

1 ピッチ

- 縦 25m～36m 横 15m～20m \wedge カルティ-マーク 5m (5・6年、パパ、ママは 6m) \wedge カルティ-エリア 3m (5・6年は 4m、パパ・ママは 5m) (ただし、状況に応じて変更する。)

2 ボール

- ボールはフットサル4号球を使用する。(軽量)

3 競技者の数

- 競技者は5人とし、内1人はゴールキーパー(以下説明文中は「キーパー」という)である。
- 交代は何回でも可能。また、一度交代で退いた競技者は交代要員となり、他の競技者と交代してピッチに戻るができる。
- 選手は交代ゾーンから交代する。必ず交代する選手がピッチから出てから入ること。審判に告げる必要はない。

4 競技時間

- 8分のみとする。(ランニングタイム)

5 得点

- ゴールイン
 - ① ペナルティエリア内のシュート等による得点は認める。
 - ② コーナーキックから、直接得点することができる。
 - ③ キックイン、間接FK、キーパーズローがキーパーに触れて入った場合は得点と認める。
- ノーゴール
 - キックオフ、キックイン、間接FK、キーパーズローが直接ゴールに入った場合は、相手側のキーパーズローで再開する。

6 ゴールキーパー

- キーパーはペナルティエリアを出て、フィールドプレーヤーとしてプレーしてよい。
- キーパーは手をつかんだボールを蹴ってはいけない。(ドロップキックを含む) 蹴った場合は相手側に間接FKを与える。
- キーパーズローは相手ピッチにノーバウンドでボールを投げ入れることはできない。ただし、アドバンテージは認める。ノーバウンドで越えた場合は相手側にハーフウェーラインの任意の地点からの間接FKを与える。
- キーパーは4秒以上ボールを保持してはいけない。違反があった場合は相手側に間接F

Kを与える。

7 フリーキック

- ボールを保持またはプレー中のプレーヤーにスライディングタックルをすることはできない。違反をした場合には相手側に直接FKを与える。
- キーパーが、味方競技者により意図的にキーパーにキックされたボールに手で触れた場合は、相手側に間接FKを与える。

8 キックイン

- ボールがタッチラインを越えた場合は、最後にボールに触れた競技者の相手側のキックインで再開する。
- キックインは走り込んで行ってもよいが、正しく行うよう指導する。（正しく行われなかった場合は、相手側のキックインで再開する。）

9 ゴールクリアランス（キーパー스로ー）

- 攻撃側が最後にボールに触れてゴールラインを越えた場合は、すべてゴールクリアランス（キーパー스로ー）となる。

10 その他

- コーナーキック、フリーキック、キックインの時、相手側競技者はボールから3メートル以上離れる。
- その他についてはFUTSAL競技規則に準ずる。
ただし、ファールは累積されない。キーパーへのパスの制限はない。

【 幼稚園児の部 】 （上記の競技規則のうち、次の点を変更する。）

- ボールは幼児用ソフトサッカーボールとする。
- コーナーキックはコーナースロー、キックインはスローインに変更する。

【 パパさんの部 】

- FUTSAL競技規則に準ずる。
- 審判・運営等に関しては参加チームで行う。